

僧ヶ岳・烏帽子岳へ行く

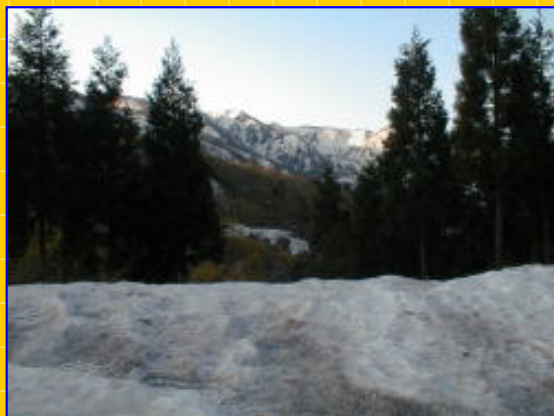
嘉例沢森林公園の林道。

まだ、1 m ~ 2 mの積雪があり、車は途中まで少々歩かねばならない。

しかし、おかげで、最初の取付きの鉾ヶ岳からは、まさに快適な春山のコース、早朝は、道路に氷さえ張っているほどのすがすがしい気温、しばらく暖かすぎるほどの天気が続いたので、今日は、出だし最高である。

まず途中の尾根から、嘉例沢森林公園の全景。

例年だと、今ごろの時期だと車で来ることができ、連休には家族づれがちらほら見えるのですが・・・今年、ここら一帯特に魚津市は、全国版にニュースになるほどの積雪だったので、例年になく雪の量が多い。

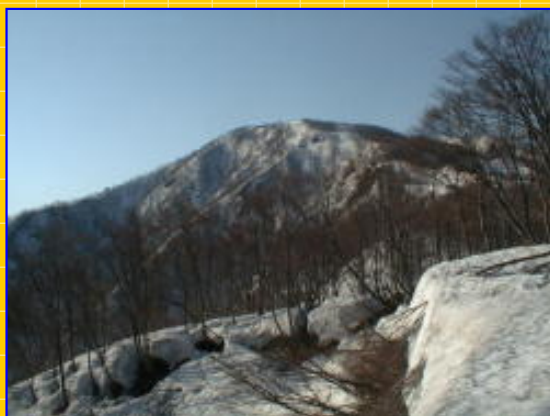
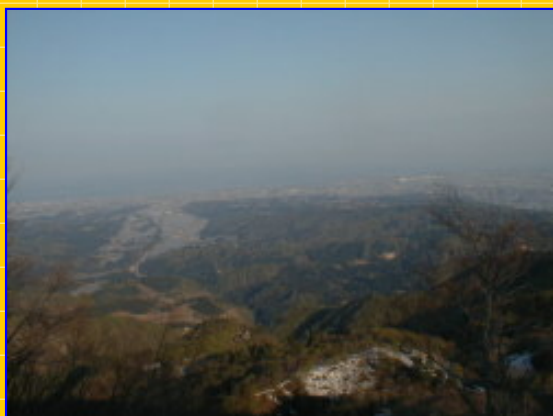


尾根からの富山平野。

今日は、よく見えませんが、富山湾、日本海が一望できます。
遠く能登半島、ウラジオストックまでも？

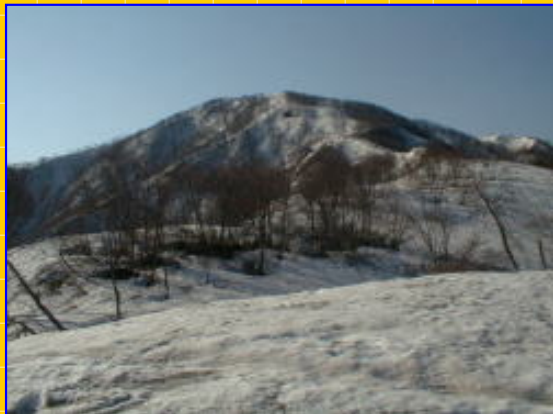
烏帽子山を望む。

稜線は、このように雪が一杯あります。



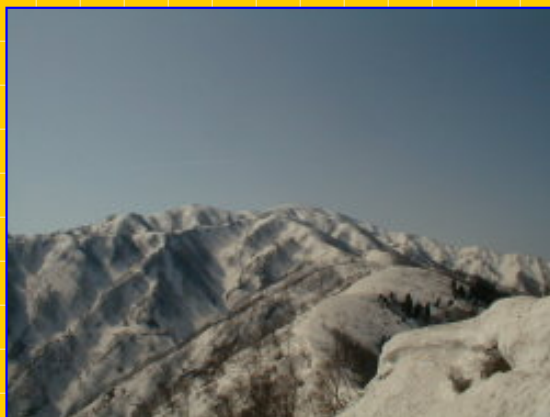
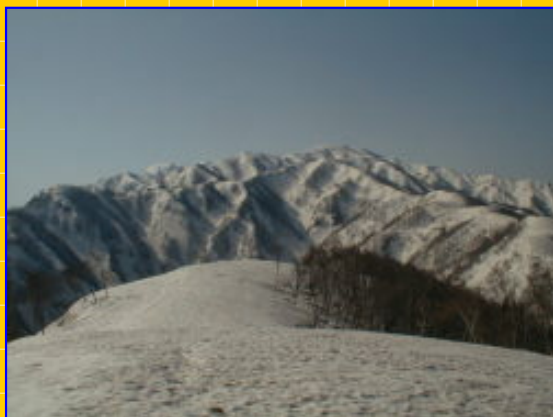
烏帽子山・僧ヶ岳コースは、稜線がこのように広いところが多い。一応、輪かんじき〔立山の佐伯さんがつくったもの〕、アイゼンを用したが、必要ありませんでした。
ただし、多少急なところでは、ピッケル・ストックなどが大変に便利だと思います。

烏帽子山(1274m)の山頂。
いつもここら一帯は、樹木に囲まれているのだが、今年の積雪はやはり想像以上に多い。
ようやく、僧ヶ岳が目の前に開けてきた。



尾根からの僧ヶ岳の展望
途中の真中の白い線は、林道。
夏は、宇奈月から入り、1300mの高さまで車で行くことができる。
そこから歩いて、2時間ほどでいけるようになる。

広い稜線から僧ヶ岳全景。
左の稜線は、宇奈月からの登山ルート。
右の手前の稜線は、これから登るコース。
右の奥の稜線は、毛勝岳の方から登るコース。



登山道。

夏は、このような整備された?登山道を行かなければなりません。
何と行っても、このコースは、春山が最高ですね。

樹林帯をすぎると、素晴らしいパノラマが展開される。
正面は、白馬から、杓子岳、唐松岳。五竜岳などの山々。
このコースは、最初から最後まで、このような展望が開けている。
後立山連峰から、剣・立山を眺めている方・・・・・・
どうぞ、1度こちらからご覧になったらどうでしょうか。



とうとう、頂上に着きました。

本日の最終目的、毛勝岳を望むことができる山頂です。

積雪は、おそらく4m程あると思います。

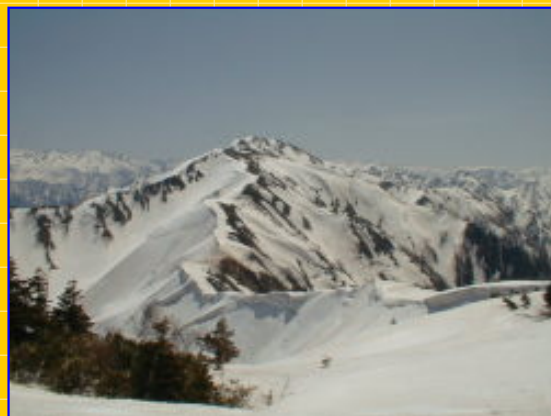
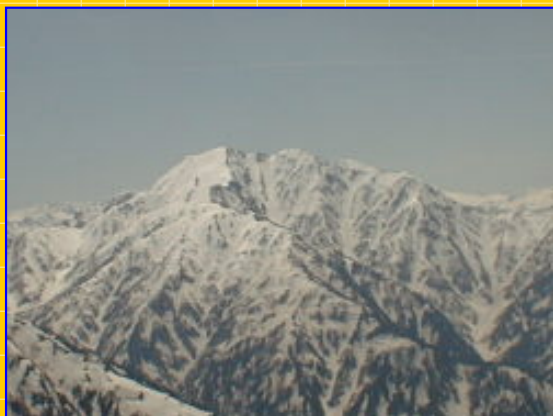
積雪のため頂上より北側のほうが大変高くなっていてどこが頂上だかわからない状態です。

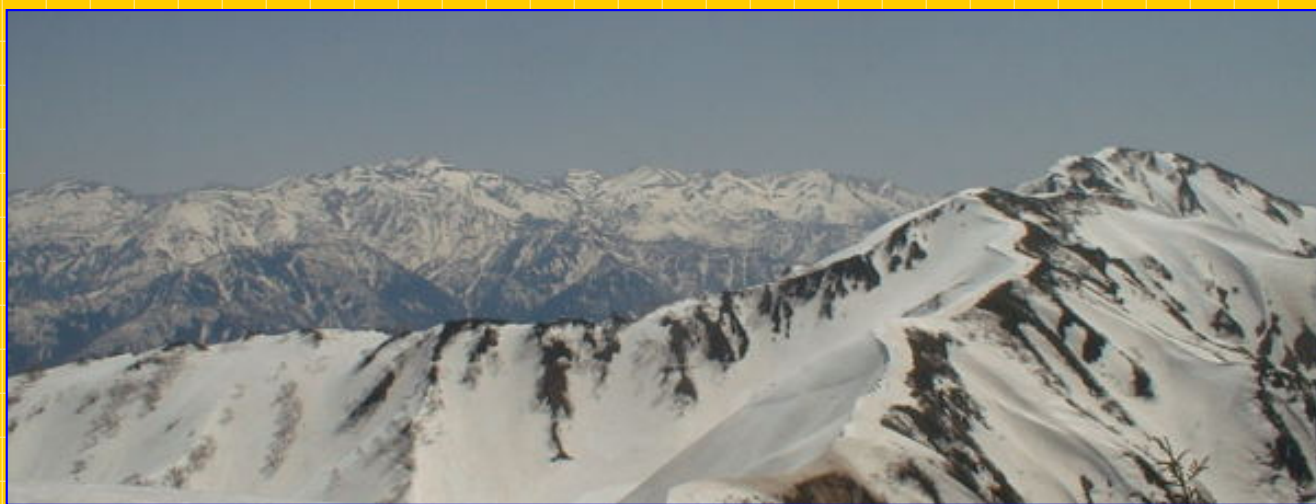
2002年まで登山道ができる予定の「駒ヶ岳」

今日は、余裕があれば、行ってきたい気持ちがあったのですが。

やや時間のゆとり〔頂上に着いたのが11時だったので〕がなかったので、今日のはんびりのつもりだったので、ゆっくり帰ることにしました。

駒ヶ岳から後方に、後立山連峰のパノラマ写真





毛勝岳からのコースから、3人のグループが登ってきた。

これから、後方の駒ヶ岳を登り、サンナビキ山付近〔黒部ダムが出来前、宇奈月へ入る道はこのコース
しかなかったそうです。が〕でテント泊、毛勝岳へ上り、片貝山荘まで下山するそうです。

いまから行くコースをバックに記念写真、頑張ってください。

特に難所は、毛勝岳へ登る北側の壁。

急斜面なので、700m程の斜面を荷物を降ろさず、小休止しながら登るそうです。

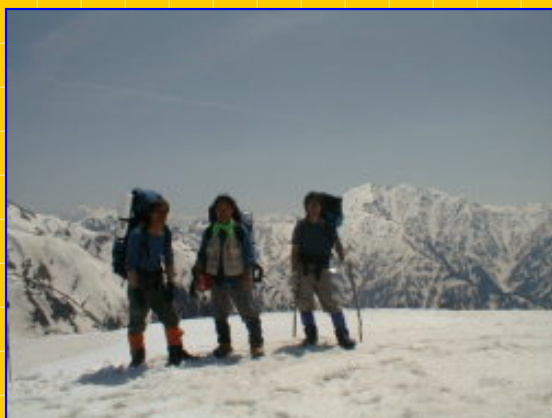
前日に嘉例沢から烏帽子山コースでビバークして登ってきた、単独の登山者。

なんと、これから僧ヶ岳ー毛勝岳ー赤谷山ー小窓等を経て、剣岳までゆっくり時間をかけていくそうです。

なんと、なんと、なんと聞くとところによると、日本海から太平洋まで

走破したとか・・・感動ですね。

すごい・・・の一言ですね。



2001.4/28 ようやく、雪のしまりがよくなり、地元の僧ヶ岳へ登った。
昨日、毛勝岳へのコースを下見したが、下山中のスキーヤーに聞くと、でぶりが多らしい。
途中、猫又山への南又コースも交通止め。毛勝岳一帯は、まだ危険なので、4/28は僧ヶ岳へ行くことにした。
僧ヶ岳へのコースは、今の時期は、絶対に烏帽子山からのコースをお勧めしたい。
ここ数日、絶好の天気、天気がよすぎて、春霞が心配されたが、朝はやや肌寒さを感じるほどの気温で、山の展望もよく、最高の登山日和であった。
しかし、こんなにも簡単に登ることができて、日本海の展望がすばらしく、剣岳北方稜線の山々・後立山連峰等の眺めも最高のコースなのに、登山者が少ないとは残念だと思うのですが。

春山情報 5号 4 / 2 8